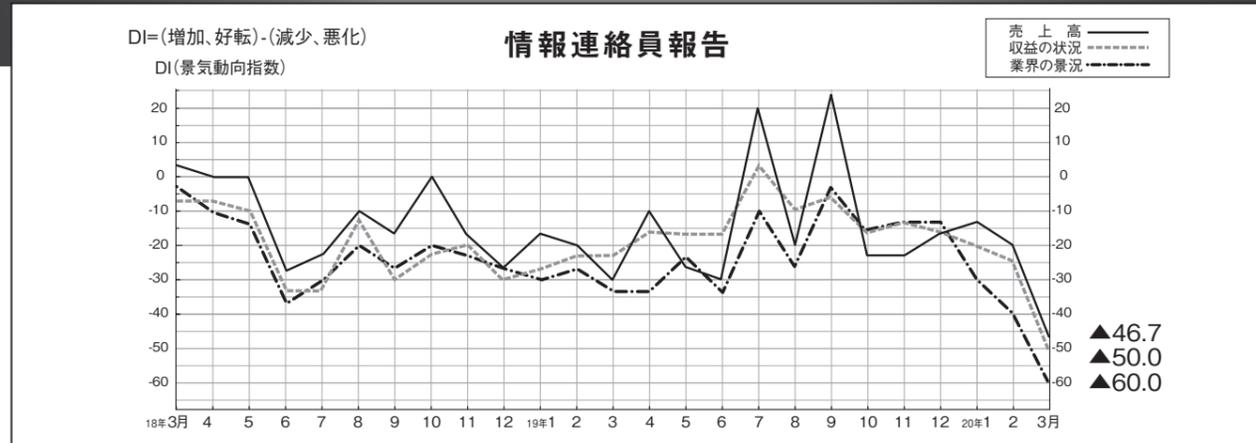


情報連絡員報告を中心とした 県内各業界の動向

2020年3月 (前年同月比)



業界の状況 | ☀️...好転 | ☁️...やや好転 | ☁️...不変 | ☁️...やや悪化 | ☔️...悪化

食品団地
新型コロナの影響が、二極化してきた。県内量販店、ドラッグストア、コンビニ向け商品の売上は上昇し、飲食店、宿泊業は減少している。県外向け出荷も同様。特に、県内の飲食・宿泊・お土産品に関する商況は大幅な売上ダウンで推移しており、先行不安となっている。

酒類製造
新型コロナウイルスの影響大（業務店の営業自粛、消費者の外出自粛による消費量の減少等）

テントシート
コロナウイルス対策による各種イベント中止、延期等売上高に影響があると思われる。

木製品素材生産
スギ・ヒノキ共に搬入量は2割程度減。価格については、ヒノキが単位当たり1,000円程度の下落、スギについてはほぼ横ばいであるが、大径材については単位当たり1,000円程度の下落。

製材
特に目立った動きもなく、現状維持の状態が続いている。新型コロナウイルスの問題も、今後間接的に影響がありそう。

製紙（家庭紙）
デマ騒動で、県内家庭紙メーカーは大忙しの3月であった。その余韻は現時点でもあるが、買い溜めされた商品は各家庭に在庫として残る。夏の不要期と重なり、今後の荷動きが心配。

印刷
県内外需要問わず低調に推移。新型コロナウイルスの影響によりイベント等の中止による印刷需要の減少、又昨年は統一地方選挙等の特需もあり、繁忙期にも関わらず前年を下回った。

生コンクリート製造
当年度の出荷、全体としては前年比111%だが、地域ごとのバラツキがある。高知市及び周辺の市況は陥没状況が続いている。

コンクリート製品
出荷数量は前年同月比95%。前年5月分の出荷から西日本豪雨による災害復旧工事の発注により増加していたが、3月分は減少に転じた。原因は不明。

機械団地
人手不足等の要因で建築現場が遅延し、完成工事高が前年同月比で約半分に落ちたとする事業所が一部にあるが、団地内の業況は概ね横ばいで推移している。なお、新型コロナウイルス感染拡大によるサプライチェーンへの影響は今のところ出ていない。

刃物製造
令和元年度においては前期と比べ、売上金額は上がったが、年度初めの4月に価格改正があったのが要因と思われる。ただ、値上率から見るとそれほどの上昇ではなく、商品数から見ると減少したのではないと思われる。

船舶製造
受注残の消化にて、操業度は高い水準である。

珊瑚装飾品製造
新型コロナウイルスの感染拡大の影響から、毎月開催している製品会が中止となった。これにより、前年同月比21%と大幅な取引額減少となった。

卸団地
景気が悪化しているなか、新型コロナウイルス発生後、更に悪くなっている。取扱量が先月の5割程度になった。観光・外食産業は大きく売上を落としている。

青果卸売
コロナウイルスの関係上、スーパー及び県外出荷は好調だが、外食・業務は低迷。今後はどうなるか？

生鮮魚介卸売
プリの入荷はあるものの、全般的に入荷量が少ない。2月末からの新型コロナウイルスの流行により、3月に入って高知県でも感染者が出た為、販売先（得意先）からのキャンセルが5割前後あり仕入高に大変影響している。

各種小売（土佐市）
ただでさえ不景気で元気がないのに、新型コロナウイルスで職種に関係なく大きなダメージを受けている。

ガソリンスタンド
新型コロナウイルスによる世界経済の減速で、原油需要は減少。そこに非加盟産油国による協調減産の決裂で、サウジが大幅な増産を表明。原油価格は一気に30%も下がり、年初のピークの半分となった。石油元売りの仕切り価格の下落により、高知県の石油製品市況は、3月上旬から毎週の値下げがあった。

電気機械器具小売
全商品で、前年比93%で大変厳しい。特に大型白物家電は前年比84%。

中古自動車小売
3月全体では、相応ない数字がでていますが、前年同月と比べ後半は減少傾向。業界の車両不足も相まって在庫数の減少も著しい。

商店街（安芸市）
業種によっては新型コロナウイルスの影響を受けている。

商店街（高知市）
中央公園地下駐車場利用状況（前年比）売上：55.9%、台数：64.8%。中心街及び周辺でのイベント、催事はすべて中止となり、来街者は感覚的に約50%減少。売上は、小売、飲食ともに30～50%は減少している。感染症収束の目途が立たない状況で先行きへの不安が増している。

商店街（四万十市）
カラオケ店が休業。四万十リバーサイドウォーク中止により、各商店街の「お接待」なし。公家行列などのイベントも中止。Shimanto+Terraceはこれの「カフェin 2」がオープンしたが、セレモニーやイベントは中止。飲食店・バー等の売上が減少。ビジネスホテルにもキャンセルが増えた。衣料品店等にも影響は及ぶ。

旅館・ホテル
新型コロナウイルスが爆発感染拡大するにつれ、業界の全ての需要が無くなり、先の予約さえも入らないのが現状である。業界は成す術も殆どなく、3か月目を迎えどどん体力を失っている。事業存続・雇用維持のためにも国・県・市の特別支援策が強く望まれる。

飲食店
新型コロナウイルス感染拡大による売上への影響は甚大。高知市内の飲酒を伴う業態では特に売上減少幅が大きく、各店舗により差はあるが、前年度比5割～9割減。事業を維持することさえ厳しい状況。新型コロナウイルス感染症特別貸付等を利用し借り入れた運転資金を使い急場を凌ぐ打つ手なしの非常事態。その他の地域でも新型コロナウイルス感染症の拡大が進むにつれ集客は減り、売上上で事業を維持することが困難になった。

旅行業
総合クーポン前年同月対比0.01%、全旅クーポンを加味して6%。過去最低の売上である。各会員からも資金繰りに苦しむ声が聞かれ、やむなく廃業を検討している組合員もいる。一刻も早い収束が望まれる。収束がつかず、感染拡大が秋までもつれ込むと売上挽回の機会を逃すことになる。

一般土木建築工事
公共土木用生コン出荷量は、前月比78.3%、前年同月比138.5%。公共工事請負金額は前年同月比で106.6%、前年対比累計では117.0%。R2/3末時点の発注者別前年対比累計では、国：114.1%、高知県：130.7%、市町村：107.1%。新型コロナウイルスの影響は現時点では少ない。

電気工事
組合員の施工する電力引込線の工事量は、前年同月比133.6%となった。高知中央・中芸地区の伸びが大きい。

一般貨物自動車運送
新型コロナウイルスの感染拡大により燃料価格は大幅値下がりとなったが、上りの荷物はあっても下りがないなどの影響がでてきている。

タクシー
実働1日1車当りの前年同月比営業収入：103.3%、輸送回数：94.9%。当月の実働率は63.1%。本月の実績情報には、新型コロナウイルスの影響はあまり出ていないが、次第に需要の激減と運転者不足でその不安は隠せない状況である。